



しろま・やすし 1962年生まれ、那覇出身。慶応大学卒業後、85年に琉球銀行へ入行。執行役員人事部長や総合企画部長などを経て、2018年に常務取締役役に就任。22年4月から現職。

- ①山田悟著『糖質疲労』
- ②プロ野球選手
- ③世界一周旅行

健康経営で社員の意欲育む

「事業概要を教えてください。」
1988年に創業し、今年37周年を迎える総合不動産会社です。115人の社員が在籍し、賃貸アパートや分譲マンションの管理、不動産の企画販売、売買仲介を手がけています。賃貸は約

復の動きが鮮明で、1年を通して堅調な年だったと思います。一方、土地価格や建築費用の高止まりで不動産価格は高くなり、金利のある世界になったことで、今後の住宅取得需要の見通しが難しくなりました。その中で、

「社内では何を強化しましたか。」
DX（デジタル・トランスフォーメーション）を強化しました。電子契約サービスを導入し、契約の8割が電子契約になりました。個人のお客さまの電子契約は100%に近い状態です。

8900戸、分譲マンションは約4600戸管理しており、マンション管理のシェアは県内トップクラスです。
「昨年ほどのような1年でしたか。」
昨年は、新型コロナの影響がほぼなくなり、観光を中心に消費や建設も回

当社の主軸であるアパートの賃貸管理の戸数は年間400戸増、分譲マンションは約160戸増と順調に伸びました。売買仲介も活発で、ストック収益とフローの収益が増加したことで、業績は全体的に好調に推移しました。

契約にかかる時間が短縮され、その分お客さまへのサービスに充てることができると、大変喜ばれています。また、お客さまとのやりとりや案件の進捗管理を全てシステム上で行う顧客管理システム（CRM）を導入しまし

た。業務の属人化をなくし、案件を見える化し共有できるようにしました。人材育成の面では社員の個々のスキルを把握した上で1対1ミーティングを実施したり、全社員のヒューマンスキル研修を開いたりしました。また、社員に心身ともに健康な状態で業務に従事してほしいという思いから、健康経営に取り組んでいます。昨年は初申請で全国上位500位の認定となる「プライト500」を取得しました。

「今年は何に注力していきますか。」
営業面では、管理物件数の増加に注力します。2026年度時点で賃貸アパートが1万戸、マンションでは5千戸を目指します。また不動産オーナーとの関係性を強化し、コンサルの提供や相続相談などを始める予定です。

内部管理については、CRMの定着による、業務の効率化を進めます。情報が蓄積され、部署を超えた連携や営業に活用できるようにしていきます。人材育成は、研修や勉強会などスキル向上につながる場を提供します。また、県外の先進的な不動産管理業者へ社員を派遣して視察させる「ベンチマーク企業訪問」も実施し、他社のいい部分を取り入れていきたいと思っています。社員の心身の健康を守るために、カスタマーハラスメントに対する対応も社として意識していく考えです。

「今年の抱負をお願いします。」
会社は人です。働きやすい環境をつくり人材育成でバックアップします。社員には、成長する気持ちを持って挑戦する1年にしてほしいと思います。